

# 宇佐市民図書館 2004.05

## 郷土スペース月報

〒879-0453 大分県宇佐市上田1017-1 TEL.0978-33-4600 FAX.0978-33-4679  
<http://www.usa-public-library.jp/>

次

- ◆ 今月の表紙・清瀬保二書簡
- ◆ 龍膽・小野精一編「大分県人名辞典」本文編(24)
- ◆ 新着郷土資料目録・平成十六(二〇〇四)年「4月」

4 2 1

私は作曲家として  
 日本人は音楽家  
 作るのよまき金  
 手銭 費して  
 あることのお祭りの  
 ひびきこそ 私に  
 その創作の原点は  
 一つだけ その  
 お祭りのひびきは  
 モチーフとて「祭礼  
 楽曲」をとり、日本の  
 音楽として 名民は

皆様の心をほぐして  
 演奏されることは  
 私の大さふ喜びで  
 ありませう  
 聴衆の皆様を含め  
 心より演奏会に  
 御成功を お祈り  
 して居ります  
 昭和五十五年五月三日  
 清瀬保二  
 大分交響楽団  
 大分合同新聞社 御中

今月の表紙 清瀬保二書簡。昭和55年に大分交響楽団が清瀬保二の代表作「日本祭礼舞曲」を演奏するにあたり、大分交響楽団と主催者であった大分合同新聞社に寄せられたメッセージ。「生誕百年・清瀬保二の世界」(平成12)開催のおり、パネラーの加藤公康氏(大分大学名誉教授・大分交響楽団指揮者)から宇佐市に寄贈された。

### 清瀬保二書簡

私は作曲家として日本人の音楽を作る事に五十余年を費して参りました  
 ふるさとのお祭りのひびきこそ私にとってその創作の原点の一つでした  
 そのお祭りのひびきをモチーフとした「祭礼舞曲」を本日自分のふるさとで県民の皆様の手ではじめて演奏されることは私の大きな喜びであります  
 聴衆の皆様を含め心から演奏会のご成功をお祈りして居ります  
 昭和五十五年十一月三十日  
 清瀬保二  
 大分交響楽団  
 大分合同新聞社 御中



# 龍膽・小野精一編 大分県人名辞典 本文編 (24)

遺族から宇佐市に寄託された自筆原稿より、本文を順次紹介しています。  
収録人名一覧は、No.7(2000.10)～No.14(2002.5)に連載しました。

## いなばた

いなばたのむ 稲葉頼

白杵隊の盟主。旧家老職。五百石を祿していた。稲葉九郎左衛門の長男。白杵祇園所に住す。白杵隊の総指揮に任ず。副、小倉五郎八、若林永興であった賊兵潮の如く、白杵市を席卷す。盟主・稲葉頼退いて大分に結集して白杵武士の面目を保たんと、四散を命じながら起つて馬上の賊將伊集院萬太郎を一撃の下に斃し、冷酒を酌み訣飲し、大分に向かう。此日、白杵隊の戦死四十三名、負傷十八名、大分にて進撃隊を編み、白杵後略戦に成功し、賊日向路に潰走した。其八月四日、賞勲局より稲葉頼若林永興、小倉五郎八へ各賞金下賜された。後、白杵町助役を務む。明治二十三年より、十数年

に及び、晩年上京し、稲葉子爵家家令となる。明治四十二年、東京に客死す。  
(白杵隊)

いなばたのむ 稲葉頼

明治十年五月、薩軍南下し、白杵を襲う。五月二十日、稲葉公の旧臣有志留恵社に集合し、旧家老職稲葉頼を座長として対策を協議す。若林永興大義を説く。盟主・稲葉頼大義名分論を認め、檄文を発す。衆之を客れ、決起して誓う。茲に於て、留恵社を本営とし、部署を定む。

総指揮 稲葉頼

副 小倉五郎八 若林永興

参謀 日下 東 以下四人

参謀加談 菊川虎雄 稲葉秀安

以下二人

輻重會計 久保田司馬 外一人

一番隊 隊長 矢野貞蔵

以下九十八人

二番隊 隊長 伊藤祐秀  
以下百六人  
予備隊 六番に分ち  
二百二十計(刀槍隊)

然るに白杵隊、悪銭苦闘を連けるので、総帥稲葉、副小倉、若林は、直ちに三番組予備隊の刀槍隊全員を率い、白兵直ちに賊陣に突入し、乱闘をなす。若林日下、勝敗を一举に決せんとす。盟主・稲葉、一旦大分に引揚げ、後国をなさんと、自ら銃を執つて馬上の一賊を斃し、冷酒を酌んで県城に引揚げた。(白杵隊)

いのうえ・かおる 井上馨

井上聞多(馨)。慶応元年、俗論党に追撃され、袖付橋で不意打され、身に十三ヶ所の重傷を負うたので身を別府に晦ます事になる。別府若松屋彦七に庇護され、春山花輔と俗名

し保養中、土方人足の元締である灘

亀の乾分となり土方人足稼業に従事する事になったので、春山は毎日彦七の家から灘亀の部屋へ通うて働いていたのが二ヶ月に及んで予定の保養を遂げて帰藩し、明治四十四年五月下旬、井上候来別して亡命中、恩誼に預った若松屋及び灘亀の遺族に引見を賜い酬恩の誼を表わし、物を賜い、且つ灘亀の墓を改め建てた。それが又十七年を経、昭和二年、井上候の嗣子勝之助侯爵が来別して展墓し、大法会を営んだ。

いのうえ・さと子 井上悟里

俳人。名悟里。字子立。号眠雲。安政二年生。桃園村の人。佐藤龍之助に学び、後、京師に至り、安部晴方に陰陽道を学ぶ。帰り、祠官となり、歿年不詳。  
(大塚)

いのうえ・じゅんのすけ

井上準之助 (一八六九～一九三二)

政治家。明治二年、日田郡大鶴村字大肥に生る。出て分家を嗣ぐ。生父清。養父簡一。準之助、仙台第二高に学ぶ。同級に高山樗牛がいた。同二十九年、東大英法科を卒業し、直ちに日本銀行へ入り、三十年には英国ベルギー両国に留学二年、帰朝後は銀行業に関興し、日露戦役後は全国金融界の中樞を占め、大正二年には横浜正金吟行頭取に就任した。大正八年には日本銀行総裁に就任、同十二年の震災にはモリトリウム(支払中止)を行つて応急処置をなし、此際成立した権兵衛内閣の大蔵大臣に就任したが、席間事件で辞職し、貴族院議員となり、昭和二年再(び)日本銀行総裁に就任し、昭和四年には浜口内閣の大蔵大臣を勤め、民政

いのうえ・たいせい 井上大成

(一七五七～一八二二)

日出藩儒。本姓森。井上氏を冒す。名養。諱懿徳。字大成。通称周助。幼より学を好み、三浦梅園に学び、業成り、日出藩中扈從となる。尋いて藩文学となり、世子補導に当り、権太夫に進む。文政四年歿す。六十四歳。  
(大塚)

いのうえ・へいこ 井上並古

(一七九八)

岡藩士。殖産家。古田尚賢の二

男。通称主水左衛門。同藩士井上

並白の養子となる。藩主中川久貞の信任を受け、幕府に請い、岡藩札七万両を発行す。更に藩の財政につき、歳費の天引節約を励行し、剰余金を積立てた。偶々天明三年、打続霖雨にて全国的凶作飢饉。藩民も薇を喰うの惨状を呈した。此に於て、彼は直ちに倉庫を開き、飢民を救済に尽した。尚彼は三宅山麓に有望の未墾地あると見、之が開拓に力め多くの良田を得たので藩主も之に酬うべく破格の恩品を以て一代老職とし千石の家禄を給した。寛政二年致仕を請うや明珍の作と称する兜を下賜して稿つた。致仕後、三宅山下墾地に居し、農耕に力め、寛政十年歿した。  
(大典・郡誌)

いのうえ・へいぞう 井上並増

並古の長子。父の跡を嗣ぎ藩政に卷興す。



## 新着郷土資料目録 平成16(2004)年【4月】

書名/人名/出版社/出版年(月)/請求記号/(備考)

- 入選作品集 国木田独歩作品読書感想文/佐伯市立佐伯図書館/2004/A019サ/(寄贈)
- 入選作品集 作文「わたしの好きな佐伯」/佐伯市立佐伯図書館/2004/A019サ/(寄贈)
- 地方自治史料BOOKSガイド 2004年/大分県立図書館/2004.3/A020オ/(寄贈・複本)
- 島原市猛島神社歴史資料調査報告書/島原市教育委員会/1998.3/A175シ/(購入)
- 豊前新大鑑/藤川宏紳/195610/A2107/(購入)
- 豊前一戸城誌 改訂/溝渕芳正/1992.7/A213ミ/(購入)
- 安心院縄文 第15集/安心院縄文会/2004.4/A2157/(寄贈・複本)
- 大分別府レトロ地図 懐かしの昭和/大分合同新聞文化センター/2004.3/A290オ/(購入)
- 島原半島史(上・中・下)/林銑吉/長崎県南高来郡市教育会/1954/A299.9ハ/(購入)
- 大分県統計年鑑 平成15年版/大分県/2004.3/A350オ/(寄贈)
- 創立八十周年記念誌/大分県立宇佐高等学校/1977/A376.4ウ/(購入)
- 宇佐農業高校 80周年記念 1901~1980/大分県立宇佐農業高等学校/1980/A376.4ウ/(購入)
- 環境白書 平成15年版/大分県生活環境部生活環境課/2004.3/A519オ/(寄贈)
- 建築士大分 2004.4 No.90/大分県建築士会/2004.4/A521オ/(寄贈・複本)
- 県北の教育 第43集/中津教育事務所/2004.3/A375ナ/(寄贈)
- 北馬城/記念誌編集委員会/大分県宇佐市立北馬城小学校/2004.3/A376.1キ/(寄贈・複本)
- 赤トンボ操縦術/野原茂/光人社/2004/A530ノ/(購入)
- 昭和の大横綱 双葉山定次と宇佐/ハヌマン/宇佐:三和文庫運営協議会/2003.3/A788ハ/(寄贈)
- 大分県の方言/大分県教育庁文化課/大分県教育委員会/1985.3/A818オ/(購入・複本)
- 国東の木と石/山本保/みづき書房/2004.3/A911.1ヤ/(寄贈)
- 一人十句集 平成15年度/大分県俳句連盟/2004.1/A911.3オ/(寄贈)
- 伝えたい6つの物語(童話集)/藤野新/2004.4/A9137/(寄贈・複本)
- 遺書・遺影・遺稿集(1)/小島啓三/海原会/2004.1/A916ウ/(寄贈)
- ルイズ 父に貰いし名は/松下竜一/講談社/1982.3/A916マ/(寄贈・複本)